

現代的課題に関する学習者の認識と 教育委員会の認識のずれ

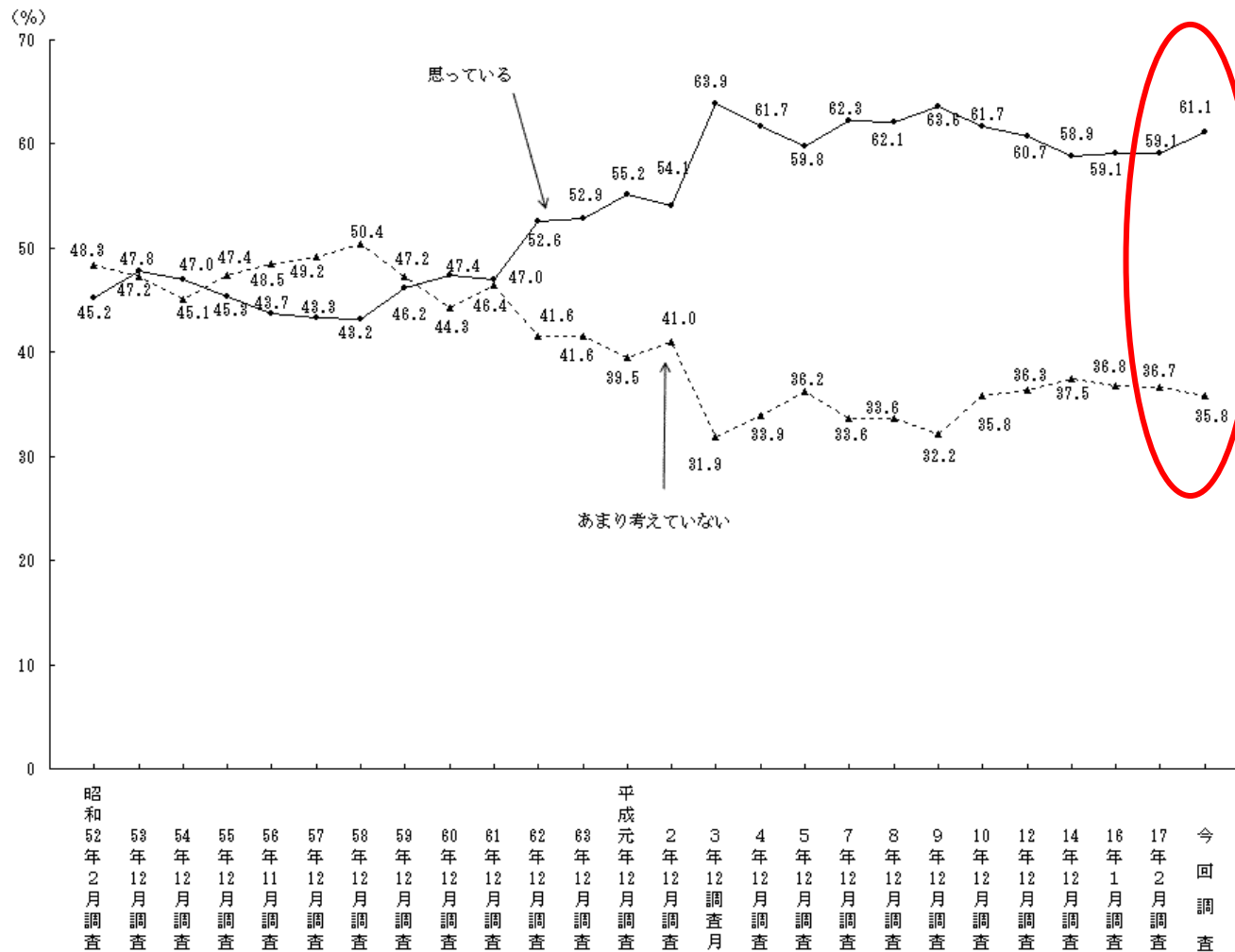
いわゆる「現代的課題」に関する学習者の関心と、教育委員会が、学習者のニーズがあるととらえている分野には、微妙なずれがある。

順位	学習者の関心	教育委員会の、学習者のニーズに関する認識
①	「情報やコンピュータ」(46.1パーセント)	「医療・保健・福祉」(56.7パーセント)
②	「自然保護・環境問題」(33.1パーセント)	「少子高齢化・介護」(55.8パーセント)
③	「資格取得」(29.7パーセント)	「自然保護・環境問題」(52パーセント)

資料: 文部科学省委託「学習活動やスポーツ、文化活動等に係るニーズと社会教育施設等に関する調査」(平成18年)

社会への貢献意識

社会のために役に立ちたいと考えている人の割合は緩やかに増加

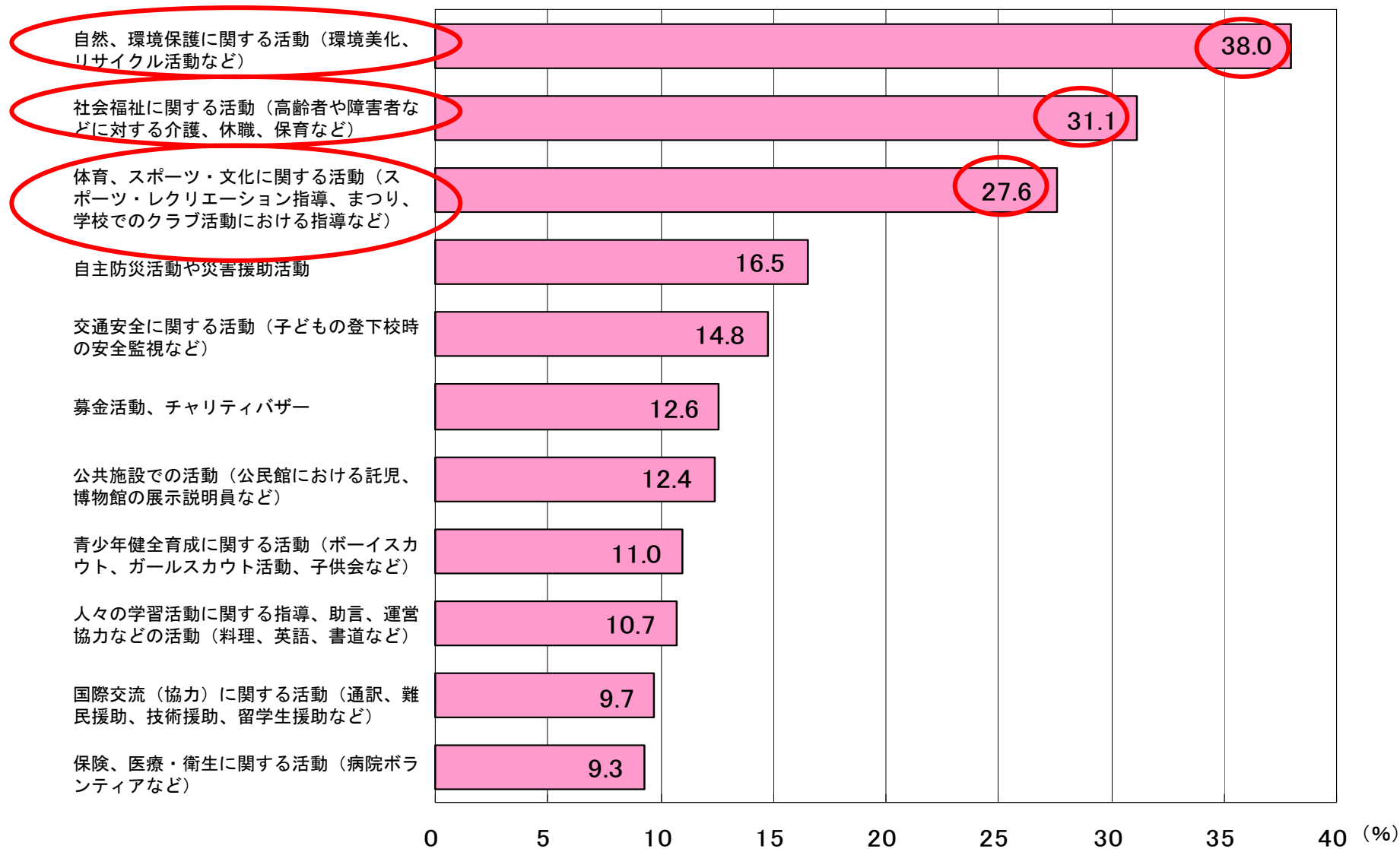


役に立ちたい
と考えている
人は61.1%

資料:内閣府「社会意識に関する世論調査」(平成18年)

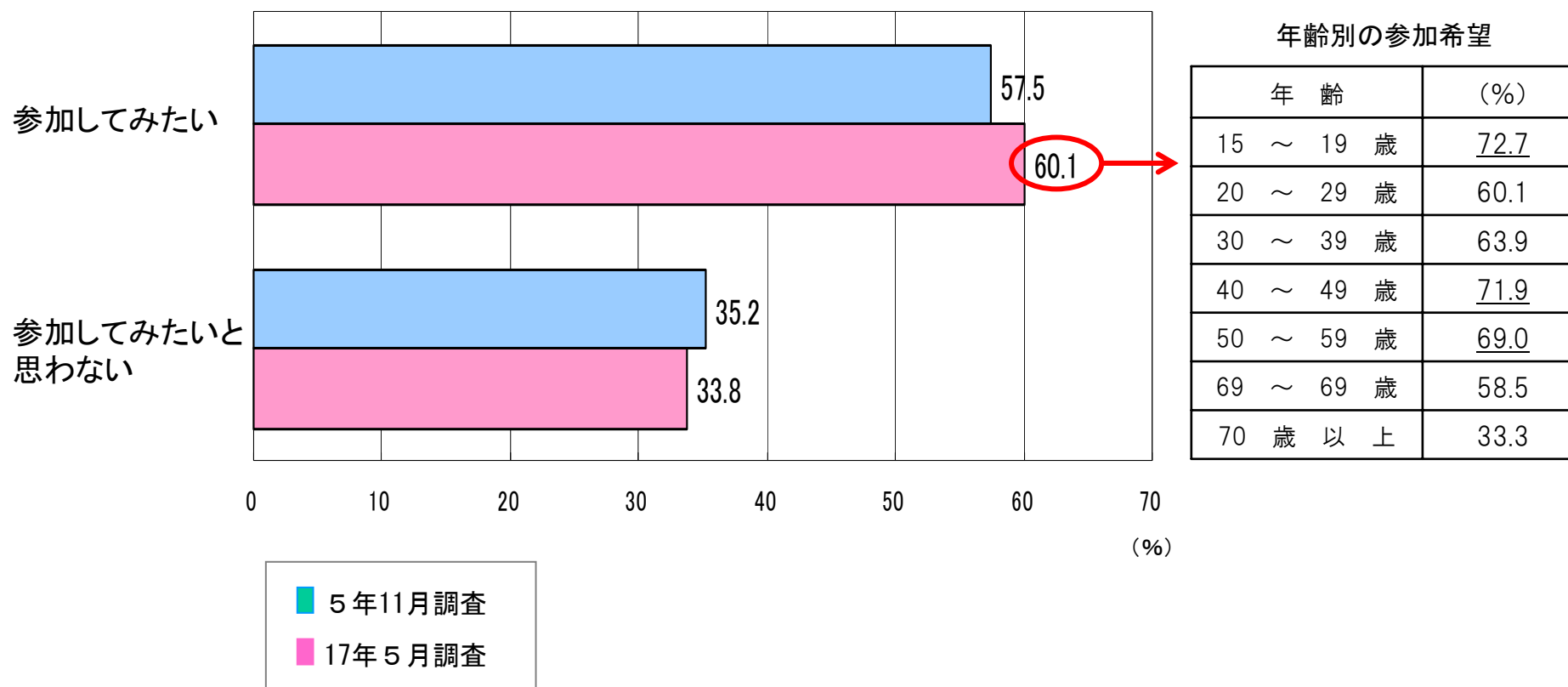
参加したいボランティア活動の分野

「自然、環境保護」に関する活動希望が最も高い。教育に関する活動では、「体育・スポーツ・文化に関する活動(スポーツ・レクリエーション指導など)」が最も多い。



ボランティア活動への参加希望

ボランティア活動への参加を希望する人は増えている。年齢別では、10代、40歳代、50歳代で参加の意欲が高い。

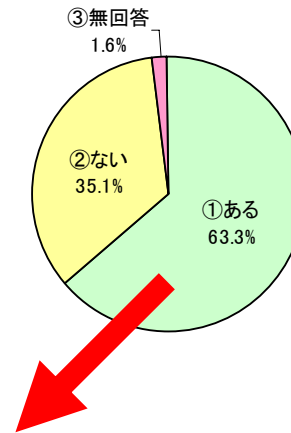


まちづくりの拠点としての公民館

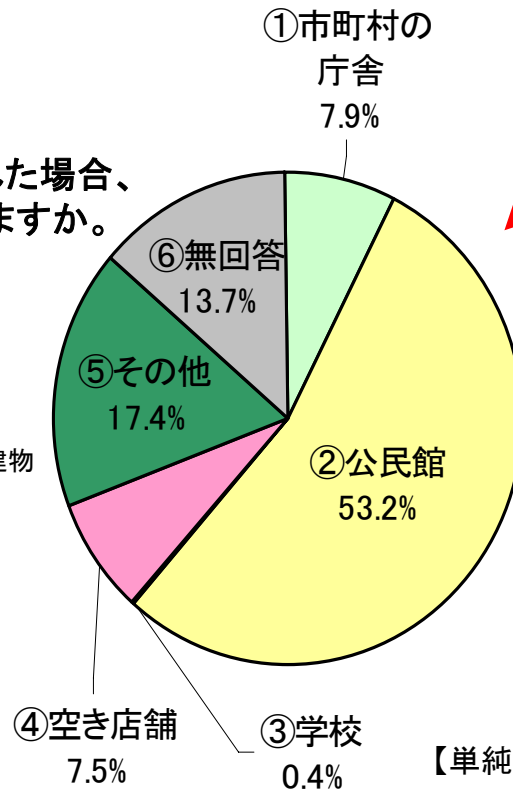
まちづくりに取り組む自治体のうち、拠点として「公民館」を挙げた自治体が53%

※平成12年国勢調査より、人口1万人以上30万人未満の市町村を抽出して調査

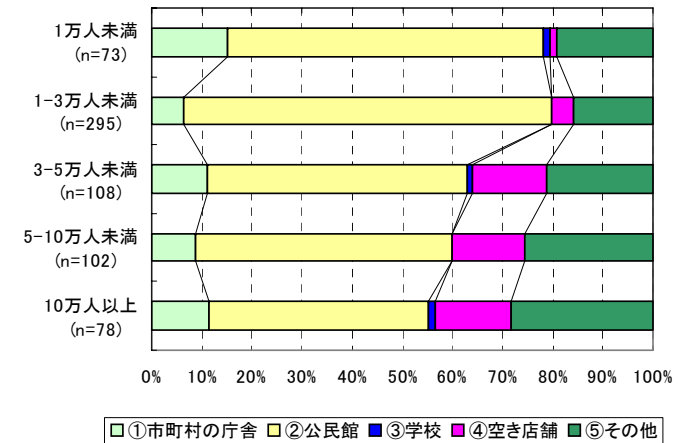
①公共施設や空き店舗など、まちづくりを行う人たちが集まって交流するための拠点がありますか。(択一回答 n=1200)



②上記において「ある」と回答された場合、どのような場所を利用されていますか。(択一回答 n=760)



- ※「その他」として回答のあった主なもの:
- コミュニティセンター、地区集会施設
 - 商工会館、公共施設の会議室
 - 学校跡、旧郵便局など現在使用されていない建物
 - 独自の事務所、発起人の家、民間ビルの一室



【単純集計】

【都市階層別集計】

資料: 文部科学省委託「合併市町村における「テーマの豊かなまちづくり」の展開方策検討調査」(平成16年)

学習活動を支える専門的職員等に期待すること

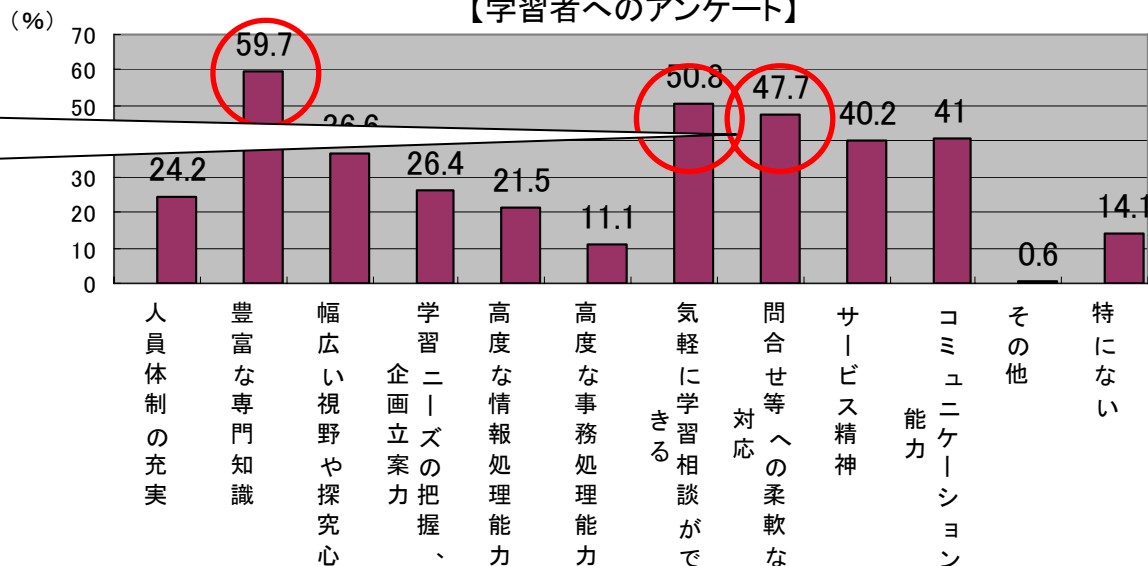
- 気軽に相談できる(50.8%)
- 問い合わせへの柔軟な対応(47.7%)

学習者からは
「豊富な専門知識」、
「気軽に相談できる」、
「問合せ等への柔軟な対応」等が期待されている。

一方、教育委員会からは
「学習ニーズの把握、企画立案力」が期待されている。

- 学習ニーズの把握、企画立案力(50.8%)

【学習者へのアンケート】



【教育委員会へのアンケート】

